

河井醉茗 いづみ 詩人。明治七年五月七日堺縣生れ、昭和四十年一月十七日歿（八十五—九六五）。本名又平、初名幸二郎。筆名多々女、ちぬ男、こ二十五笠生、河井、河井生、河井袖月、河井醉茗生、無笠、無笠等。東京華南學校中退。雜誌「文庫」記者、「女子文壇」編輯を経て、明治四十年詩壇社を興し、「詩人」發刊、更に昭和五年「女性時代」、戦後にも「千四年」塔影』を創刊。十一年帝國藝術院會員。

著書『書葉集』（合著・石橋哲次郎編、明治二十一年十一月—二十二年又盛望）、『水あひび』（合著、明治二十二年二月—二十九年内外出版協會。編）、『詩美叢讀』（編、明治二十二年七月十五日發刊、内外出版協會）、『無笠子』（明治二十四年一月一日内外出版協會）、『劍影』（明治二十八年二月十八日金色社）、『青海波』（編、明治二十八年六月十一日内外出版協會）、『玉蠶』（明治二十九年五月十八日女子文壇社）、『桂の巻』（編、明治二十九年十一月—二十二年左久良書房）、『轉旗雲—あやの會詩集卷二』（合著、明治二十九年十一月十九日左久良書房）、『明治詩集（附録・新體詩年表）』（合著・吉野臥城編、明治四十一年一月二十七日昭文堂）、『霧』（明治四十二年五月十日東京堂書店）、『コマンダラーマンダラー詩社第一詩集』（合著・マインダラー詩社編、大正四年二月十五日東京堂書店）、『現代詩人選集』（合著・詩話會編、大正十年二月十七日新潮社）、『東京近郊めぐり』（大正十一年七月十八日博文館）、『醉茗詩集』（大正十二年一月一日、改訂増補二版、十四年十一月十五日アリス）、『現代婦人の手紙』（編、



訂増補二版、十四年十一月十五日アリス）、『現代婦人の手紙』（編、

大正十二年四月十二日ヤルス「ヤルス婦人叢書」、
 『近代詩用語諸辭典』(編、大正十二年十月五日紅玉堂書店)、感想集『生けの風景』
 (大正十五年一月一日ヤルス。再刊、昭和七年九月十五日春陽堂「春陽堂文庫」)、
 『日本志物語』(昭和二年二月五日ヤルス「日本兒童文庫」)、
 『現代詩人全集・第四卷』河井醉茗撰 櫻井操編 櫻井操撰 伊波普猷集
 (昭和四年十一月十五日新潮社)、
 『日本現代詩研究』(合著、白田京治編、昭和五年一月十五日金星堂「現代詩講座」特裝本)、
 詩集『紫羅蘭花』(内題「阿羅世待止草」昭和七年七月十五日東北書院)、
 『女性と手紙』(昭和八年十一月一日社會教育協會「婦人講座」)、
 『歌移』批評集』(本名、編、昭和十一年十二月二十一日女性時代社)、
 『明治代表詩人』(昭和十二年四月十五日第一書房)、
 『醉茗詩話』(昭和十二年十月二十一日人文書院)、
 『醉茗詩抄』(昭和十二年八月五日岩波書店「岩波文庫」)、
 『詩と詩人』(昭和十八年二月十五日大阪・駁々堂)、
 『新日本詩選 愛國の詩』(合著、安部直久 村上成實編、昭和十八年四月十五日大阪・大和出版社)、
 『御糖のれら』青年朗唱詩集』(合著、詩人同志會編、昭和十八年八月十五日旺文社)、
 詞華集『初花』(合著、白田京治編、昭和十八年十月一日大阪・増進堂)、
 『眞賢木』(昭和十八年十一月二十日金尾文淵堂)、
 『少國民詩』年刊』(合著、日本少國民文化協會編、昭和十九年二月五日帝國教育會出版部)、
 『農土白木詩集』(合著、松村又一編、昭和十九年七月二十日秋原宏文堂、
 彰考書院創設事務所)、
 『少國民のたのしみ大東亞戰爭詩』北原白秋氏公捧』(合著、與田準一編、昭和十九年九月二十五日國民圖書刊行會)、
 『花鎖抄』(昭和二十一年十月五日京都・金尾文淵堂)、
 甲文

藝初心抄』(昭和二十一年五月五日民生本社)、『こころとあつらひの
外七篇』(公著・信濃教育會編、昭和二十一年十一月二十日長野・信
濃教育會出版部「信濃文庫」)、詩集『塔影・花鎖抄』(昭和二十二
年九月十五日西郊書房「日本定本詩集」)、『文庫詩抄』(編、昭和
二十五年六月一日酣燈社「詩人全書」)、『河井醉茗詩集』(小牧健
夫解説、昭和二十八年七月二十日角川書店「角川文庫」)、詩集『千
里横行』(島本融編、昭和四十一年九月十日塔影詩社)等。

文獻『現代日本詩選』(北原白秋、三木建風編、大正十四年十一月五日ヤルス)

等。